


文・編集・発行 / 齊藤新緑 Tel (0776-82-1141) Fax (0776-82-2261)
【齊藤新緑事務所】〒913-0001 福井県坂井市三国町池上 103-36
【e-mail】sinryoku@aurora.ocn.ne.jp
【ホームページ】http://www.ss.apdw.jp

ほっとらいん

人に、まちに、いま、
元気の種をまこう。

VOL. 104

ID2020プロジェクト

人体にマイクロチップを埋め込んで、管理することを目指しているプロジェクトが、映画の世界でもなく、都市伝説でも陰謀論でもない、現実世界で進行しています。

犬や猫を飼っている人は、知っているかと思いますが、2022年までに犬、猫にマイクロチップの埋め込みを義務化する法案が日本で成立しました。



ファイナル・ウェイクアツプ・コール

デジタル監視社会

そして人間に対してこのような動きが進められているのです。

ID2020プロジェクトと違って、世界77億人全てにRF IDマイクロチップが埋め込まれる社会を実現化するための計画が進んでいます。

この、ID2020プロジェクトに共同参加しているのは、マイクロソフトと複数のIT企業、世界最大の経営コンサルティング会社のアクセンチュアや、製薬会社などを含む150社、ロックフェラー財団、GAVI(ワクチンと予防接種のための世界同盟と複数の国連機関です。(日本も参加しています)

▼デジタル監視社会

プロジェクトの目的は、マイクロチップを全ての人に埋め込み国際的なデジタル認証システムを構築することです。ID2020の公式サイトでは、目指す目標は、発展途上国の未だ公式IDを持たない11億人にIDを与え、出生登録、医療や教育、社会保障サービスなどを受けられるようにする人道的なプロジェクトと表向きはなっています。

しかし既に個人認証システムがある先進国の人々にもマイクロチップの埋め込みによるデジタルIDを将来義務化する動きとなっている疑いももたれています。

脳神経活動と似ており、電磁波で人間の思考や感情を外部から操作することも可能になる。

トシナイ法案が可決された。AI(人工知能管理)による都市国家のことだ。「SDGs」。持続可能な社会をめざした国連17の目標、169のターゲットに向かって、

しかし、あるべき国家観も描かず、世界一律の目標を掲げる行動とは何か。

分散した個別目標を目を凝らして意味を吟味し、全体を俯瞰するならば、未来の子供たちへの環境保護運動のようなお花畑の話でないことがわかる。

増え続ける世界人口を削減して「持続可能にする」という国連の資源管理、人間管理目標であり、各国の政府を不要とするグローバル企業の世界支配戦略と見える。

一般大衆が理解できていないことを知っている少数の人々が、便利で豊かな未来社会といった甘い言葉を振りまき、大衆が気づかぬうちに、支配的な力を手に入れる。

5Gの周波数の波形が、人間の

GIGAスクール構想

日本政府が力を入れるGIGAスクール構想が急ピッチで進んでいる。

この構想は生徒一人一台のタブレット支給とクラウドの活用、高速大容量インターネット通信環境を全国の国公立の小中学校に整備することを掲げ、2019年12月に発表された計画だ。

デジタル・リテラシーのない教員はこれから採用されなくなる。

だが、今後教育の中身もデジタルで管理されていくとなると最終的にはそもそも先生自体が必要かどうか、という話になってくる。

GIGAスクール構想で学校現場の光景は変わり、授業がオンラインで行われ、基本的に生徒がタブレットの中を見ながら先生が教室にいて教える必要はなくなる。
GIGAスクールサポーターのようなインストラクターだけ

でいい。

文部科学省の公式ホームページに貼られた学校における一人一台端末環境公式プロモーション動画の中で、小学生の女児は手元のタブレットを見ながら、あどけない笑顔でこんなセリフを口にしている。

「タブレットがないと、全部自分の頭で考えないといけない。でもこれタブレットがあれば、間違えた時すぐ説明されて、前に進んでいくんです」

タブレットの中に組み込まれた学習アプリが立ち止まって考えの間もなく、すぐに間違いを正してくれ、その子の理解の度合いに合わせた次のステップに誘導してくれる。こうした個別の学習ソフトは、デジタル教育の目玉の一つとして宣伝されている。

しかし、考える前に調べるようになってしまったり、複数の危険性がある。
紙の教科書と違い、液晶画面で読

む者は空間的な手がかりがつかみにくいため記憶に残りにくいこと、ネット検索で情報過多になり、考える前に検索してしまい頭を使わなくなること、そしてメモを取る能力と字を書く能力、そして内容を咀嚼する能力が落ちてしまうことだ。

これについて、東大とNITデータ研究所、日本能率協会マネジメントセンターの三者が合同で電子機器と紙の手帳の記憶について比較調査を行っている。

18〜29歳の48人を手帳、タブレット、スマホの3グループに分け、それぞれにスケジュールを書き入れさせた後、MRIで脳活動を測定した。

すると、スマホ・タブレットの電子機器群に比べ、紙の手帳を使ったグループは記憶

に関する脳活動が活発になり、記憶力も優位という結果が出た。

人間は記憶力をもとに新しい思考や創造的発想を生み出し、ゆくため、記憶力を優位にする「紙に触れ、手で書く」という行為を、おろそかにしてはいけないのだ。

教科書は時代遅れ、タブレットこそ最先端という考えは、バンデミックをきっかけに急速に広まっているが、ある教授は「時代遅れどころか、紙の本とノートを使うことこそ最先端だ」と言い切っている。

「デジタルはあくまでも補助主体は紙という基本を変えるべきではありません。結果が出ないから頭で考え、工夫して忘れないように付箋をつける。手間のかかるそのプロセスこそが、脳にとって大切な学びだ」

からです。」

ビル・ゲイツは自分の子供たちに14歳までスマホやタブレットを持たせず、その後も食事と家族でいる時は、電子機器の利用を禁止した。

アップルの創業者スティーブ・ジョブズは娘たちにアイホンもアイパッドも持たせなかった。

グーグル幹部の子供たちが通うシリコンバレーで一番人気のある学校では13歳より前の子供たちをテクノロジーに触れさせることを以下の理由から許可していない。

「デジタル機器の利用によって、子供の健康な身体、創造性と芸術性、規律と自製の習慣や柔らかな頭と機敏な精神を十分に発達させる能力が妨げられるため。」

AIは、問いをくれない。くれるのは答えだけ。もし人間から問う力がなくなれば、「考える力」も失ってしまうだろう。

人間にとって大事なものは、「問うこと」なのだ。
ニュースを見ても、人と会って

も、季節の移り変わりを見ても、「なぜ?」「どうして?」といつも好奇心を持ち、問いを口に出すことで、目に映る世界は大きく、広く、深まっていく。問いがあるから、自分で考え、知らなかった答えに出会うことができる。

ドイツの哲学者マルクス・ガバーはこう言った。
「AIには倫理観がない。だから絶対にAIが人間に教えることはない」と信じた。

肉体がなくて決して死なないAIには、倫理観がない。なぜなら倫理観とは、死を迎えるから持っているものだからだ。

倫理観や哲学は、人間が内側の世界を深めたり、それによって見ている世界を大きく広げたり、間違った方向に暴走しようとした時、私たちが人間らしさを失わないために、原点に戻って踏みとどまるための羅針盤になる。

▼教科書のない学校

デジタル・ファシズムの著者

堤未果が通った和光小学校には、タブレットどころか教科書自体がなかったようだ。

知識を入れるためではなく、考えるための教材を先生が自分で探してきて、それをプリントしたものが配られ、毎回授業のたびに数ページ配られる紙を自分で二つに折って、授業の最後にファイルに綴じて行くので、一学期が終わる頃には一冊の教科書ができた。毎回、その授業で進む分しか配られない。結末を知らないため想像力がどこまでも広がり、毎回どんな意見が飛び出すか、議論がどこに向かうのか、予測できない楽しみがあった。

この学校の特徴は、一つはすぐに答えを教えてくれないこと、二つは先生が生徒の答えに〇×をつけないこと。

▼文部科学省が公式ウェブサイトに公開している、人間の身体の一部をコンピューターに置き換えて究極の効率化を図る「ムーンショット目標」は、本当に私たちの望む未来なのだろうか。

人間の教師の代わりに、機械に教えられるだけでなく、子どもたち自身が機械になっていくような世界でもはや学校という存在は必要なくなるだろう。

考えることを外部委託する教育

孫への手紙 (20)

自然免疫という最強の武器

一才六カ月になり、ペタペタと元気に歩き始めました。

ムニムニユとこの星の言葉が知らないけど意味不明の言葉で話しかけてくれます。

先日はお前と同じ年の可愛いアルパカの「ミズギ」ちゃんがやってきたので、お前を柵の中に入れて「お前は何者だ」といわんばかりに、お前の顔に鼻を押し寄せ臭いを嗅いでいました。それに対して、お前は怖がりもせず、いい子いい子しようと毛に触っていました。

一般的にお母さんが参加した講演会などに、子連れでくる



魂は妊娠7ヶ月当りに

と、途中で、ぐずったり、泣き出したり、歩き回ったりするので、迷惑がかかると思ってお母さんが部屋を出ていく光景をよく目にします。しかし、お前は大勢の中においても大人しくしていて、皆が手を叩くと一緒に喜んで嬉しそうに手を叩いています。先日も20分ほど家族で瞑想していても、お前は静かでした。

初産で陣痛2時間で生まれてくる子は、珍しいようです。一般的には親孝行といわれますが、本当に苦しいのは、暗くて細い産道を抜けて出てくる赤子ですから、お前はそれだけ苦しみに、抜けて出てきたので、以前の記憶が残っているような気がするのです。

入ってくると思いますから、言葉が通じるようになったとき、お前はなぜ、お母さんのおなかを選んだのか、お前はどこの星から来たのか、これで、人間界に来たのは何回目なのか、前は、いつ、どこでどんな暮らしをしていたのか、と聞いてみたい心境です。



先日は、生まれ初めて風邪を引いて熱を出しました。

た。婆は、「お母さんからの免疫力が切れて、熱を出したのは順調な証拠」と喜んでいました。

すぐに元気になるかもしれませんが、こ

うして自分で自然抗体をつくっていくのでしよう。

それで今日は、大事な免疫力をつけて、お話しします。今世の中では「コロナウイルス」で大騒ぎしてマスクや消毒やワクチンなどということになっていますが、実は私たちの身のまわりはウイルスや細菌が、ウジャウジャいて、ばい菌に囲まれて、ばい菌と一緒に暮らしています。

菌が、ウジャウジャいて、ばい菌に囲まれて、ばい菌と一緒に暮らしています。

なのになぜ病気になるのか、爺は、今年65才になりましたが、この歳まで生きてこれたのは、神様からもらった「免疫力」に守られているからです。

それでも、万二、体の中に入ってきたら、お前が先日、熱を出したり、鼻を出したり、下痢をしたりしたように、神様のお守り部隊が出勤して、ばい菌をやっつけてくれたのです。

お前の好きなアンパンマンのお話にたとえ

れば、普通は、ばい菌が体の中に入らないように、ガードされていますが、体が弱った

りしていると、バイキンマンが体の中に入ってきます。その時アンパンマンが登場して、Aという

バイキンマンなら、Aというアンパンマン部隊を出勤させ、Bとい

うバイキンマンならBという部隊が出勤して、熱を出して、やつ

つけ、鼻水を出したり、咳をした

バイキンマンをやっつけると、できる部隊をそろえている最強の軍隊です。

自分の体の中には、神様からもらった最強のアンパンマン部隊がいるというところを、しっかりと覚えておいて下さい。

風邪を引いた、熱が出たと思ったら、アンパンマンが出勤して熱を出して闘っているんだと思っ

て、つらくても安心してアンパンマンにまかせておけば治ります。

だから、つらいからと言って、解熱したり、咳止め、鼻水止めなど余計なことをして、アンパンマンの邪魔をしてはいけません。

温かくして、水分をとって、何も食わずに、じっと寝ている、それがアンパンマンを応援していることであり、一番早く治る方法です。

野生の動物は、体が弱ったとき、何も食わずにじっとして回復を待ちます。だから、こんな言葉

を覚えておいて下さい。

体の調子が悪くなったなら、「食うな、動くな、寝てろ。犬でも猫でも知っている、隣のミケが笑ってる」三日食、なきや7割

治る。(船瀬俊介)

病気はウイルスがあるからではなく、アンパンマンが強いから

弱いか原因です。アンパンマンを強く保つためには、食事が大事です。

神様からもらった体ですから、自然のものを食べるのが一番です。毒の入った甘いもの、おいしいものはやめましょう。

ビーガンのお友達が来る食事には困りますが、あれは、日本にある精進料理(神様の料理)ですから、あれが一番なのです。

できるだけ、余計なものを食べない、シンプルに日本由来の食事にしましょう。そして、体を冷やさないように、体温を上げるように、お風呂に入ったり、体を温めるように気をつけましょう。

爺は、こんな大事なことを誰からも教えてもらっていませんでした。学校という所は、何を教えるところなのか、タブレットなど持たせて、爺には疑問があります。

▼大和民族

お前は、YAP遺伝子を持つ大和民族の一員です。

YAP遺伝子とは、神の遺伝子であり、神そのもので、世界の中でも、日本人以外には、わずかしきません。

それが、西欧による明治維新によって壊され「脱亜西欧」になって、いつの間にか、お金が「神様」になって、YAP遺伝子をもつ大和民族は眠らされてきました。

今、地球は大転換期にあります。次元上昇といつて、三次元から五次元へと上昇していくときです。

地球も大和民族同様「悪い宇宙人に支配され、ドームの中に閉じ込められていました。それが解除され、宇宙の仲間入りをする事になりました。

この時に、生きていくということは、とんでもない喜びなのです。お前は、この時を選び、大和の国を選び、お母さんのお腹を選び、ついでに、爺と暮らすことを選んではいないかと思つて

います。世界を支配してきた悪者たちが一掃される。人類解放のとき。夜明けは近い。みんな楽しんで時をワクワクして待ちましょう。

祈るとき、泣くとき、キスするとき、夢を見るとき、なぜ人は目を閉じるのか?

なぜなら、人生で最も美しいものは、目で見るとは、心で感じるものだからです。

デンゼル・ワシントン

娘たちへの手紙

命懸けで子供を守れ

▼今は戦時中だと思え！

母親がチンタラ、チンタラ、ヘラヘラしている子供が命が守れないというのを肝に銘じておきなさい。周りは危険がいっぱいです。

目に見えて、銃弾が飛び交うような戦争状態にはありませんが、異常に子供たちを蝕んでいくものが潜んでおり、「見えない戦争状態」として、心してかかる必要があります。

そのためには、真実とは何か、正しい情報を得て、正しい行動、家族防衛の対策をしなければなりません。

株式会社であるテレビや新聞は、広告宣伝業であり、経営者の意向に沿って、一方的に一方に誘導するための、コマースシャルだと思つて、信用してはいけません。不安や恐怖を煽ったり、いかかわしい商品紹介を毎日、毎日、繰り返して報道する。それを「洗脳」と

言います。

彼らには、「報道する自由」もあれば、「報道しない自由」もありです。本当に重要なことはニュースには流れてきません。

疑問に思つたことをネット検索したり、本を読んだり、信頼できる情報発信者を探して多様な視点から考えて見て下さい。

それでは、当面する注意事項を書きます。

▼子供にワクチンを打たせるな！

コロナの新型も旧型も変異株もインフルエンザも風邪の一種で、わざわざ中に毒が入っているようなわけのわからないワクチンを打つ必要はありません。

子供は、コロナでは死んでいませんが、ワクチン接種後に亡くなっています。

FIFAのサッカー選手や

コーチが試合中や練習中にグラウンドでバタバタ倒れて百人以上も死んでいる動画を見たことがありませんか、心筋炎など血流の良い人ほど危険なようです。

熱が出たら、温かくして家で、水分とって、「食うな、動くな寝てろ」、自然免疫力で回復します。

PCR検査など、コロナでも反応したりしますから、全く信用できるものではなく、健康な体でも陽性反応しますから、受けてはなりません。

▼免疫力を下げないように
・ワクチン毒の解毒

既にワクチンを接種した人が死んだり、副作用で苦しんでいる人たちがいます。

どんな製造番号のワクチンを接種されたのかによって、反応も違い、個人差もあるの

でしようから、「一括りでは言えませんが、コロナ対策副作用対策として、良いと言われているものを紹介しておきます。

お姑さんや友人が既にワクチンを打っていたなら、大事な自分の免疫力を低下させるので、これ以上は接種しないように言つて進言してあげてください。

①重曹過酸化水素ナトリウム・クエン酸(酢)は、体を弱アルカリ性に保つのに良いといわれています。(ガンなどにも有効といわれています)

②松葉茶、緑茶(カテキン)は、コロナに強い体質をつくると言われています。

③イベルメクチン
これはコロナ予防、治療ワクチン解毒に一番効果があるといわれており、インドなどで実証されています。

④酸化グラフェン対策

ワクチンに入っていると いわれる酸化グラフェンは、体の中に血栓をつくるという危険物質で、電磁波に反応し、活発化するので、テレビ、電子レンジ、IH調理器、5G携帯電話(特に5G)、など体から離しておいて下さい。また、これから寒くなりますが、電気毛布、電気カーペットなどは厳禁です。



グルタチオンは子供たちは豊富にあるのですが、高齢化によって、減少しますから補給する必要があります。



⑤安定化「酸化塩素」
これは、殺菌剤ですが、希釈して飲用するのですが、コロナにはもとより、歯周病やガンなど難病にも効果があり、最強といわれています。

⑦ビタミンD

亜鉛
冬場になると太陽光線に当たることが少なくなり、ビタミンDが不足し、免疫力を低下させます。

サプリメントなどで補給することも大事です。言うまでもなくビタミンCは欠かせません。
亜鉛の取得も非常に良いといわれています。

▼食について

バカな日本の農業政策によって、今や日本の食品は毒だらけです。食うものがないと思つて下さい。

毒を食うくらいなら食べないの方が良いということをお腹にすえてください。

「子供が喜ぶものを食べさせたい」などと言つて、甘いものや加工品、便利だからと言つて、コンビニの食品には手を出さないように。そこで言うのですが、余計なものを食べさせない。基本は、日本食です。

どっちみち、料理はヘタクソなのだから、まず、自然の調味料を揃えなさい。

塩(食塩ではなく天然の海塩)、醤油・味噌(日本古来の醸造のもの)。間違つても、化学調味料(味の素、だしの素、アジシオなど)使つてはいけません。その上で、米(できるだけ玄米、発酵玄米)、納豆、豆腐、油揚げ(いづれも遺伝子組み換えでない国産大豆)、海藻類、いも類などを中心に、シンプルな食事をして、免疫力を強めてください。

また、物流が止まる心配があるので、冷凍保存など10日間分ぐらいの備蓄をしてしておくように。ネット通販で自然食を探して、宅配も利用すると良いでしょう。

母親として、しっかり勉強し、子供を命懸けで守つてください。

オーストリアからのメッセージ

フェイスブックのお友だち申請を頂いたオーストリア在住の日本人、佐藤さん(女性)からの投稿が、海外事情が伝わってくると同時に、いつも、心に沁みる文章なのでご紹介させて頂くことにしました。

虚像による支配

この2年間ほどでこの世界が虚像によって支配されているという感じがはつきりしてしまったと思う。

世界を支配しているのは、軍事力でも経済力でもなかったのだ。世界を支配しているのは、メディアが作り出す虚像であり、プロパガンダ(政治的宣伝)だった。偽の報道やメディアの中に仕込まれた心理操作が、人々を支配していたのだ。

今の世界は、ほんの一握りの人々によって支配されているという事は前から言われていた。まさかそんなことかと思っていたけれど、この2年ほどの間、世界中の政治家がまったく同じ政策をまったく同じやり方で始めたのを見たなら、もう信じないわけにはいかない。

表舞台に立っている数多くの政治家たちは、実のところ裏で操られているマリオネット(操り人形)にすぎなかったのだ。洗脳され、操作されて、与えられたセリフを言い、命じられた役を演じている工作員にすぎなかった。

この2年ほどの間に、世界中で数多くの政治家たちが辞めていったけれど、そのあとにはまた全く同じ考えを持って、同じ政策を続

けていく政治家が据えられただけだった。何人入れ替わっても同じこと、同じように洗脳され操作されているマリオネットが入れ替わり立ち替わり据えられていくだけだった。政治も、虚像を作り出して演劇にすぎなかったのだ。

それでは、裏で糸を引いている人たちは何なのだろうか？

世界中のお金を動かして、そのお金で人間を操っている人たちがいたのだ。人間はお金でどうにでも動かせてしまう。お金で人を脅迫させたり暗殺させたりすることもできるし、賄賂や脅しで事件を迷宮入りにしてしまうこともできる。そしてこの人たちは、心理操作の技術を研究させて、人間をどうにでも動かせるような技を開発し、実際に世界中で使っていたのだ。

それは、人を完全に操れる政治のマリオネットに仕立てることから、あらゆるメディアやインターネットにサブミナル潜在意識な暗示を仕込んで、人々の心理を操ることまで、

ありとあらゆる分野にわたっていた。彼らはごく少数だけれど、お金ならいくらでもあったのだ。それで、世界中の人々を操って、心理操作をさせていた。かくして、ごく一握りの人たちが、お金を動かす人たちが、世界中を支配することに成功してしまっただ。

私たちは、民主的な国に生きていて、国民が選んだ政治家たちが政治を動かしているのだと思っていた。経済は公正な競争の原理によって、人々の需要を満たすべく動いているのだと思っていた。そのすべてが、まったくの虚像に過ぎなかったというところが、この2年ほどで、誰の目にも明らかなくらいに表に出してしまっただ。

私たちが、民主的な国に生きていて、国民が選んだ政治家たちが政治を動かしているのだと思っていた。経済は公正な競争の原理によって、人々の需要を満たすべく動いているのだと思っていた。そのすべてが、まったくの虚像に過ぎなかったというところが、この2年ほどで、誰の目にも明らかなくらいに表に出してしまっただ。

何しろ、人々の健康のために、家に閉じ込めて、経済を崩壊させたり、さらには毒の入った薬を注射させたりしているのだから、強烈だ。そんなことが目の前で起こり始めて、まさかとは

思っていたことも、現実だったことを知らざるを得なくなってしまうた。ところで、その現実が見えてきたら、実は同じようなことはこれまでもずっと行われていたことが目に入り始めた。

これまで使われてきた薬の多くも、実は言われているような効果などなく、人を病気にして、ますます薬に頼るようにしてしまっただけだったことが、次々と暴露されていった。そればかりでなく、食料品にも化粧品や洗剤にも、故意に毒が入れられていたらしいことも見えてきた。

それらすべては、人々が生きる力を失って、抵抗する力も思考力も失って、ただ判断停止状態、プロパガンダに従うようにするために使ったらしい。

この2年間、一体何が起こっているのかと、多くの人はあれこれと情報を集め始めた。それは複雑多岐に渡っていて、まるで巨大な迷宮の中をさまよっているかのような感じがした。だけど、一度全体が見えてしまっただら、原理は実に単純だった。

ほんの一握りの支配欲に憑かれた人々が、お金を使って虚像を作り出し、世界中の人々を思うように操っていたのだ。

お金、ところで、お金そのものが実のところ、作り出された虚像にすぎなかった。お金というのは、それが価値だと思っ人がいるから、その価値になる。お金で価値を得られると思っから、人は物やサービスを提供するのだ。つまり、お金を価値であると思わせ、それを与えることで、人を操るシステムを、しらえたのが、今世界中を思うように操っている一握りの人々たちだったのだ。

そして私たちは、お金で買えるものが豊かさであり、幸せであると思っ込んで来た。だから、お金をたくさん稼げる人が優秀な人、成功した人なのと思っ込んで来た。お金を稼げるようになることが一人前になることであり、人生の意味はお金をより多く稼ぐことであると思っ込むようになった。



その結果、私たちの多くは、お金がもたらえるのであれば、それがいいことかどうかも考えずに、言われた通りにするようになってきた。お金こそが幸せであり、人生の意味にさえたのだ。そして、まさにその連鎖が、今のような状況を、しらえることになった。

ある意味、この2年間は、この虚像に気づくための最高の機会だったとも言えるかもしれない。ロックダウンによって、消費生活から離されたら、お金で買える贅沢の数々も見せかけの豊かさ、にすぎなかったことに気づいた人も多い。

それはただ豊かさのイメージにすぎなくて、それを得たからといって、本当に豊かな気分になるわけでもなかった。それは形だけで、本当の中身の無いものだったから、豊かさを求める気持ちはますます飢えを感じたくらいだった。

そこから切り離されたとき、本当の豊かさとは、お金で買えるようなものではなかったことに、とつぜん気がついた人も多い。それは日常生活の手触りとか、愛しさのようなものであって、

その結果、私たちの多くは、お金がもたらえるのであれば、それがいいことかどうかも考えずに、言われた通りにするようになってきた。お金こそが幸せであり、人生の意味にさえたのだ。そして、まさにその連鎖が、今のような状況を、しらえることになった。

消費生活は美のころ、そうした豊かさから私たちの意識を逸らしてしまっていたのだ。

明らかに筋の通っていない理屈で国民に死ぬかもしれないような注射を強要しようとしていた政治家たちは、どれも魂の抜けたマリオネットにすぎなかったことがわかってしまったし、テレビに出てくる医学の権威や学者たちも、実はほとんど何の知識もないお金に動かされた人たちだったことがわかってしまった。

一方、自分の仕事のプロパガンダを作り出すことに加担するかどうかにかかっていることがはつきりした人たちは、まさにお金を取るか魂を売るかの選択を迫られていることに気がついた。

これは、今まで信じていた価値観が丸ごと崩壊するようなことだから、すべてが虚像にすぎ

なかったとは信じたくない人もたくさんいると思う。だけど、何かがおかしいことを感じていた人たちは、すべての謎が解き明かされたように感じたかもしれない。

一方、これまでお金が価値になっていくことに違和感を感じ続けてきた人たちは、ついに解放されたようにさえ感じているかもしれない。

この虚像が崩れたときに見えてくるのは、私たち人間は本来もつとずつと健康で、特別なものなど何もなく、幸せに生きられる存在だということ。自分の利益だけを追求したり、支配欲で行動したりしたのは、恐怖で心理操作されていたからにすぎなかった。

人間はもともと平和と調和を求めて、助け合うことに喜びを感じ、創造的に生きていく存在だったのだ。

一方、自分の仕事のプロパガンダを作り出すことに加担するかどうかにかかっていることがはつきりした人たちは、まさにお金を取るか魂を売るかの選択を迫られていることに気がついた。

これは、今まで信じていた価値観が丸ごと崩壊する



命を賭ければ無敵だ

▼この2年ほどの間、勇気ある人の姿をたくさん見ることができたのは、貴重なことだったと思う。まさかこんな事態になるとは思わなかったけれど、真実を言うことと人権のために抗議することが、最大の勇気を要することになったのだ。

ベルリンで行われたデモで、警察が人権監視の介入をしているのを見て、『警察は憲法と国民を守るためのもの』とスピーチをした刑事部長は、翌日から職務停止になった。多くの医師たちは、真実を語つたために解雇されたり、ライセンスを取り上げられたりして、アフリカに亡命した人もいる。

黙って従っていたら、犯罪に加担することになる。

それは、魂を売るのかどうかという瀬戸際で、魂を取ると決めた人間の強さなのだと思う。

そこには命を賭けた人間の清々しさがあった。このように姿が見られただけでも、この2年ほどの事態は意味があったとさえ思える。

それは攻撃する強さではなく、ただ尊厳を持つて堂々として

いる強さ、無抵抗でただ従わない強さなのだ。その姿は、これまで見たこともないくらいに人間という存在の高貴さ、美しさを見せてくれた。

ニュージールランドでついにデモが始まったとき、マオリ系の人も西洋系の人も一緒に、「ハカ」を踊っている姿が印象的だった。

「ハカ」はマオリの戦いの踊りだけれど、結婚式や追悼やお祝い人を励ますためにも踊られるらしい。抗議行動する人たちがハカを始めました。これはもう敵わないとそう感じた。

「ハカ」はそれほどの力を感じさせる踊りなのだ。形だけで踊っているのじゃなくて、戦う意志を込めて踊っている。その意志の力が形になって表れている。

縄文人やケルト人は、死を恐れ



なかつたから無敵の強さだったと言われているけれど、彼らが強かったのは、祖霊としっかり繋がっていたからだ。

沖縄にはまたそうした祖霊との繋がりが残っていて、亡くなったおじいおばあがいつも守ってくれているという深い信頼感がある。祖霊は森や海、大地の神々と一緒にいて、その神々がおじいおばあのように愛し守ってくれているのを感じているのだ。

縄文やケルトの人々が強かったのは、こうした自然の神々と一つになった祖霊の力に守られていたからだと思う。

彼らは守られていることを知っていたから、恐れずに戦うことができたし、実際に不忠議な力に守られていたのだと思う。天に導かれている人間は、必ず守られる。そういう確

信だ。それでも死んだとしても、それは祖霊のころへ行くことにすぎないことを知っていたから、死を恐れもしなかったのだと思う。彼らは亡くなった人といつもコミュニケーションしていたから、死ぬことはいなくなってしまうことではないということをちゃんと知っていたのだ。

この力と繋がっている人間には手を出せない。この力と繋がっている人間を支配することはできない。だから支配者たちは、この繋がりを断ち切ろうとしたのだ。縄文でもケルトでも、やってきた支配者たちは、まず聖域を破壊することから始めた。それでよりどころをなくして、祖霊の力と繋がれないようにしてしまったのだ。西洋でも日本でも、宗教は美のころ、この力の封印になっている。

ニュージールランドのハカを見ていると、この踊りはまさしく大地の力、祖霊の力と繋がるための踊りなのだと思う。

その力と繋がりを守られていて、だから本気で戦う力と意志があることを内外に示すための踊りなのだ。

何故なら、この力こそは縄文やケルトの人々を支配とは無縁の民族にしていたからだ。そしてこの力を取り戻すことで、私たち人類は今、再び戦いや支配とは無縁の存在に進化するのかもしれない。

命を賭けている人間には敵はない。祖霊と大地の力に守られて、自分の尊厳のため、まわりの人々のために戦おうとしている人間には、手を出さず、愛と信頼から戦っている人間は、攻撃することができない。

支配の歴史が始まったときに、この力との繋がりは失われていったのだけれど、今、世界中がこころまで追い詰められたときに、人類はこの力を再び取り戻そうとしているのかもしれない。

科学も政治も司法も頼りにならないところまで追い詰められて、もはや神に頼るしかないような状況だ。そして追い詰められたからこそ、古代の力を私たちが再び取り戻しているのだとしたら、それこそはこのすべての意味だったのかとさえ思える。

それいけアンパンマン

そうだ うれしいんだ
生きるよろこび
たとえ胸の傷が痛んでも

なんのために 生まれて
なにをして 生きるのか
こたえられないなんて
そんなのは いやだ

今を生きることで 熱いころ燃える
だから 君は いくんだ ほほえんで
そうだ うれしいんだ 生きるよろこび
たとえ 胸の傷がいたんでも
ああ アンパンマン やさしい君は
いけ みんなの夢 まもるため

なにが君のしあわせなにをして喜ぶ
わからないまま おわる
そんなのは いやだ
忘れないで夢を こぼさないで涙
だから 君は とぶんだ どこまでも
そうだ おそれないで みんなのために
愛と 勇気だけが ともだちさ
ああ アンパンマン やさしい 君は
いけ みんなの夢 まもるため

時は はやくすぎる 光る 星は 消える
だから 君は いくんだ ほほえんで
そうだ うれしいんだ 生きるよろこび
たとえ どんな敵があいてでも
ああ アンパンマン やさしい君は
いけ みんなの夢 まもるため

朝早くからアンパンマンの音
楽が流れる。
居間を覗くと、歩き始めた孫
が、どこへ行くかわからないの
で、柵の中に入れられ、一人お
もちやのピアノを鳴らしていた。
ただそれだけのことなのだが、
どうもこの孫はテレパシーを発
信するのか、爺よ、みんなを救う
ためにアンパンマンになって頑
張れとハッパをかけられている
ような気分になる。

▼ついに65歳になった。めでた
くもあり、悲しくもあり、高齢者
の仲間入りを果たした。
すると、市の健康増進課より、
インフルエンザワクチンのご案内
が届いた。これも、高齢者ならで
はの経験である。しかし、「健康増
進」という言葉に、ワクチンを打
つことが健康増進なのか、という
疑問が残った。

▼半年ほど前だったか、NHK
「クローズアップ現代」のプロ
デューサーがわざわざ訪ねて来ら
れて、番組への出演依頼があっ
た。

新緑の気ままにトク

た。

テーマは「二極化する社会」と
いうことで、内容はワクチン肯定
派と反対派の二極化ということ
だったのだが取材に対して私は
「テレビや新聞で情報を得る人と本
やネットで情報を得る情報格差の
二極化ではないか」ということを
申し上げた。

すると、後日「番組の企画はな
くなった」というメールが届いた。
いくらなんでも「コロナの恐怖
を煽つたのはNHKで、コロナに
感染したのではない。メディアに
感染したのだ」と言われたら、
自ら墓穴を掘るようなものだ。番
組編集会議で却下されたのではな
いかと思われる。

先日は、日経新聞からも取材の
申込みがあったのだが、歪曲した
報道にうんざりしていたので、お
断りしたのだが、了解したかな
い場合は記事にしない」というこ
とで、取材に応じた。

テーマは、AI(人工知能)に
よるファクト・チェックについて
だった。
ネット上に投稿される文章や動
画に対して、AI(人工知能)が
監視して、抵触する言葉があ
るとテカントが凍結されるとい
うことについて、どう思うかと
いうことだった。

「なぜ、あなたの配信は、チェッ
クされずに大丈夫なのか、実は
ここがポイントで、後日の新聞に
日本の「ファクトチェックが甘い」
という記事が掲載されていた。
自由を守るべき報道機関が「言
論封殺を推進している暗黒社会
である。」

以前「大本営発表」という記事
を書いたが、戦後 大手新聞各社が
戦争を煽つたことについて、謝罪
し、「二度としない」と誓ったにも
拘らず、国民の命に重大な影響を
及ぼす人類初の遺伝子ワクチンの
中身を検証することなく、単なる
風邪の一種に過ぎないコロナの恐
怖を煽り、国民を不安に陥れ、「打
て、打て」を連発したことは、
今後 戦争犯罪人 人道上の罪に問わ
れることになる。

それにしても、知名度のない福
井県の片田舎の一県議員のこと
を大手テレビ局 全国紙すべてが
報道した、相手にしたこと
は、何を意味しているのだろうか。
▼1月20日のバイデン大統領就
任式から1年余が経つ。
アメリカ不正選挙の証拠は十分
だったが、副大統領や最高裁判所
長官がスネに傷を持つ
人で、判断しなかった
ため、水面下での軍事
行動を余儀なくされ
時間を要してきた。
表メディアで報道さ
れないことを言うつと、
気の病にでもなったのか、大丈夫
かと、心配して訪ねて来てくれた
人もいる。

は、何を意味しているのだろうか。

▼1月20日のバイデン大統領就
任式から1年余が経つ。
アメリカ不正選挙の証拠は十分
だったが、副大統領や最高裁判所
長官がスネに傷を持つ
人で、判断しなかった
ため、水面下での軍事
行動を余儀なくされ
時間を要してきた。
表メディアで報道さ
れないことを言うつと、
気の病にでもなったのか、大丈夫
かと、心配して訪ねて来てくれた
人もいる。



ドベッド
魔法のベッド、メド・
ベッド(無料も配置さ
れたようだ。

だから、テレビや新聞が報道す
るまで口をつむぐことにした。
「偽バイデン大統領の就任式は録
画されたもので、就任以来、エア
フォースワンにのつたこともなけ
れば、ホワイトハウスに入ったこ
ともない。すべてはスタジオの
セット撮影だということ、米軍の
最高司令官は未だにトランプ大統
領なのだ」ということは…。

しかし、準備は整ってきたよう
だ。既に、一部の人間が世界をカネ
で支配する諸悪の根源だった銀行の
システム(ライブ)から量子コン
ピューターによるQFSシステム

今、究極の選択が迫られてい
る。目覚めるときが来たようだ。
真実が明らかになる日は近い。

今、究極の選択が迫られてい
る。目覚めるときが来たようだ。
真実が明らかになる日は近い。

に移行され、世界
通貨リセットが開
始された。
全人類77億人に
配布される量子携帯電話Qラオー
ン(8G)が用意され、テスラ・
フリーエネルギー(無料開始の
ためのテスラタワーも建設されて
いる。



今、究極の選択が迫られてい
る。目覚めるときが来たようだ。
真実が明らかになる日は近い。

今、究極の選択が迫られてい
る。目覚めるときが来たようだ。
真実が明らかになる日は近い。